令和３年度公益社団法人びわ湖高島観光協会事業報告書
（自　令和３年４月１日　：　至　令和４年３月 31 日）

Ⅰ．令和３年度事業総括

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行のキャンセル、予約控えや外出自粛の影響を受けて観光需要は低迷し、宿泊業はもとより、市内の交通や飲食業、物品販売業など多くの産業に深刻な影響が拡がっている。こうした中で、国は感染の状況等を見極めつつ、広域周遊観光促進のための滞在コンテンツの充実、受け入れ環境整備、情報発信等の推進を計画している。高島においてもこのような動きに同調したＰＲ活動や独自の事業を実施した。

観光中の「旅ナカ情報」を手元にしかも非接触型で届け、周遊観光を促すデジタル観光案内のツールとしてオリジナルの観光アプリを導入した。また市内周遊のためのコンテンツ造成、情報共有や体制整備を目的として、協会の誘致推進部会において市内事業者の交流会、研修会を実施した。

インバウンド受入については国・地域ごとの感染収束を見極め、誘客可能となった国・地域から回復が図られる見込みだが、本年度においては再開の明確な動きは見られなかった。しかしながら高島においては、この期間を誘客、体制整備の機会と捉えてインバウンド対応に取り組んだ。受け入れ態勢のさらなる整備のために、前述の観光アプリは多言語で導入。さらに高島市地域通訳案内士連絡協議会との連携でオンラインモニターツアーを開催した。また紙媒体の翻訳、商談会等の通訳対応などでも連絡協議会と連携して情報発信、誘客活動に努めた。

物産振興事業においては、コロナ禍の中で個人市場では購入手段のネット通販へのシフトが起こっている。これに対応すべく前年度に立ち上げた楽天ＥＣサイトなどオンラインでの販売強化に取り組んだ。店舗運営については感染症対策を維持継続した。イベントや催事についても感染対策に十分配慮したスタンスで取り組んだ。

本年度より新たに市内主要観光施設、宿泊施設を対象として市場調査を開始した。従来からある観光庁による観光入込調査よりもより踏み込んだ観光客の属性情報を収集して、旅行者のニーズを把握、今後に生かそうとするものであり、継続的に取り組むことで実効性のある事業の立案運用につなげることを狙っている。

その他継続的な取り組みとして、市内の観光情報収集、情報誌やウェブ等各媒体への情報提供、パンフレットの発行、タイムリーな誘致ツールの発行、ＳＮＳを活用した情報発信、長浜市や若狭湾観光連盟との広域観光推進などを通じて、高島が有する豊富な観光資源と魅力をＰＲ、観光地高島のブランド発信を進めた。

一般事項

1. 組織

1）会員異動状況（3 月 31 日現在）

①会員（正会員）異動状況

年度当初会員数	異　動			会員数
	入　会	退　会	賛助会員へ移行	
264	27	11	0	280

②賛助会員異動状況

年度当初賛助会員数	異　動			賛助会員数
	入　会	退　会	正会員から移行	
103	2	6	0	99

2）役員状況

役職名	定款による定数	年度当初	年度中異動	現在
会　長	1 名	1 名	―	1 名
副会長	3 名以内	3 名	―	3 名
理　事	(正副会長を含む) 15 名以上 18 名以内	(正副会長を含む) 17 名	選任　1 名	(正副会長を含む) 18 名
監　事	2 名	2 名	―	2 名

3）職員状況

種　　別	年度末
正職員	9
嘱託職員	2
臨時職員	14
合　　計	25

2. 会議等

1）総会

種類	月日	会　場	出席者数	議　　題
通常 総会	5/28	高島市観光 物産プラザ	出　席 ２３名 委任出席 １６２名 会員数 ２７２名	〔議決事項〕 (1) 令和 2 年度計算書類承認の件 ・収支計算書 ・貸借対照表 ・正味財産増減計算書 ・財産目録 ・財産諸表に対する注記 監査報告 (2) 理事選任の件 〔報告事項〕 (1) 令和 2 年度事業報告の件 (2) 令和 3 年度事業計画の件 (3) 令和 3 年度収支予算の件

2）理事会

回	月日	会　場	出席者	議　　題
1	5/12	高島市観光 物産プラザ	理事 １５名 監事 ２名 アドバイザー １名	〔議決事項〕 (1) 入会の承認について (2) 令和 2 年度事業報告の承認について (3) 令和 2 年度計算書類の承認について (4) 理事候補者の承認について (5) 令和 3 年度通常総会議決事項の承認について 〔その他〕 (1) 令和 3 年度通常総会の開催予定について
2	8/3	高島市観光 物産プラザ	理事 １４名 アドバイザー １名	〔議決事項〕 (1) 入会の承認について (2) 令和 3 年度収支補正予算の承認について 〔報告事項〕 (1) 令和 3 年度事業年間スケジュールの変更について 〔その他〕 (1) 令和 4 年度 事業提案について

3	11/24	高島市観光物産プラザ	理事 １２名 アドバイザー １名	〔議決事項〕 (1)入会の承認について (2)令和 3 年度収支補正予算の承認について (3)嘱託職員服務規程の変更について (4)臨時職員服務規程の変更について (5)会長職務代行者の順序の定めについて 〔協議事項〕 (1)令和 4 年度事業計画（素案）について 〔報告事項〕 (1)会長及び副会長の職務執行状況について (2)まいばら駅広域観光交流圏ｺﾝｿｰｼｱﾑ会議について
4	2/22	高島市観光物産プラザ	理事 １１名 監事 ２名 アドバイザー １名	〔議決事項〕 (1)職場におけるハラスメントの防止に関する規程の承認について (2)職場の懲戒手続きに関する規程の承認について (3)職員服務規程及び嘱託職員服務規程、臨時職員服務規程の変更について (4)令和 4 年度通常総会の開催について 〔協議事項〕 (1)令和 4 年度事業計画(素案)ならびに収支予算(素案)について (2)令和 4 年度役員改選について 〔報告事項〕 (1)第 5 回理事会の開催について
5	3/25	高島市観光物産プラザ	理事 １１名 監事 １名 アドバイザー １名	〔議決事項〕 (1)入会の承認について (2)令和 4 年度事業計画の承認について (3)令和 4 年度収支予算の承認について (4)事務局長の任命について 〔協議事項〕 (1)令和 4 年度役員改選について 〔報告事項〕 (1)令和 3 年度収支決算見込 (2)会長及び副会長の職務執行状況について

3) 監　査

令和 2 年度事業報告、計算書類等の監査が行われた。

月日	場　所	出席監事	監査対象
5/6	高島市観光物産プラザ	2	令和２年度公益社団法人びわ湖高島観光協会の事業実施ならびに収支決算について

Ⅱ．観光振興新規事業

本年度において、観光振興の新たな取り組みとして以下の事業を実施した。

1. 市場調査（マーケティングリサーチ）

高島市への旅行者を概観すると、季節によって属性が異なり、年代による価値観の違いもあり、旅行先に求めるものにも違いがみられる。多様な旅行者ニーズを把握し、また、安定的な集客と平準化を図るために、誘致推進部会を中心に観光客数や宿泊者数、属性等の調査を行った。観光庁の観光入込客統計のフォーマットを生かしながら、より踏み込んだ情報収集により、高島市への入込状況を詳細に明らかにすることを意図した。

今後もこの調査を継続し、集積したデータ結果は、季節ごとの旅行者のニーズや来訪可能性が高い旅行者層を探るうえでの基礎的情報として分析の上、事業計画に反映していきたい。

① 調査内容／日帰り・宿泊人数、個人・団体・教育旅行の利用人数、客層、居住地、業種別入込数（宿泊・キャンプ場・スキー場・日帰り施設・道の駅別）

② 調査対象／高島市内主要観光施設・宿泊施設　37 地点（誘致推進部会中心）

③ 調査結果概要／

・例年の教育旅行は春期に多い傾向が見受けられるが、令和３年度は学校行事等の中止・延期が相次ぎ、多大な影響を受けた。今年度は 11～12 月が多い傾向があった。

・一般旅行（個人・団体含む）の客層では、ファミリー層の入込が多い傾向となった。大きな要因として、キャンプ施設等の入込増加によるものだと推察する。

・宿泊施設利用の来訪者の居住地調査結果では、京都府が最も多く、次いで滋賀県、大阪府であった。特に、県内の来訪者数の増加が顕著である。県域で滋賀県が実施した宿泊周遊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう！」（※）を活用した旅行需要が下支えとなり、密を避けながら、地元や近隣への短距離観光旅行、いわゆるマイクロツーリズムのスタイルの広がりが、要因として考え得る。

（※）令和 3 年度は、第 3 弾・第 4 弾・第 5 弾キャンペーンが実施された。
第 4 弾では、情勢により一時的に福井県・岐阜県民も対象となった。

2. 周遊促進媒体（アプリ）導入（市委託）

国内外の観光客の「旅ナカ情報」を補完し、高島市内の周遊性の向上および観光消費額の拡大を図るため、観光アプリを新規導入した。また、その機能を活用したスタンプラリーキャンペーンを企画・実施した。なお、観光アプリの導入にあたっては、各メーカーの仕様や費用を十分に比較検討し、高島市担当者と協議のうえ業者を決定した。

①アプリ仕様／「地図」「クーポン」「スタンプラリー」「ユーザー投稿」のみのシンプ

ルで使いやすい設計とした。また、言語は一部除き日本語・英語対応で整備を行った。

・「地図」: 高島市域マップに 201 地点のスポット（観光・宿泊・飲食・物産等）を登録し、各スポットの詳細情報ページも設けた。

・「クーポン」: 観光協会会員を対象に参画施設を募集、30 件割引等のお得な内容のデジタルクーポンを設けた。

・「スタンプラリー」: 市内に 10 箇所のスタンプスポットを設定、アプリを起動した状態で近づくと自動的にスタンプが取得できる。スタンプ 5 個以上集めると懸賞応募が出来るキャンペーンを開催した。景品として、当選者 18 名に市内特産品セットを発送した。

（スタンプスポット）　メタセコイア並木
道の駅マキノ追坂峠
琵琶湖周航の歌資料館
たかしま・まるごと百貨店
道の駅しんあさひ風車村
道の駅藤樹の里あどがわ
道の駅くつき新本陣
グリーンパーク想い出の森
白鬚神社
高島びれっじ（１号館）

・「ユーザー投稿」: ユーザーが写真やコメントを自由に投稿できるページを設けた。

②運用期間／アプリ運用開始日：2021 年 9 月 20 日
スタンプラリー実施期間：2021 年 10 月 1 日～2022 年 2 月 28 日

③利用実績／2021 年 10 月 1 日～2022 年 2 月 28 日（計 5 ヶ月間の総数）
ダウンロード数：565
動向調査有効数：407
クーポン利用数：46
スタンプラリー参加者数：50
抽選応募数：50
写真・コメント投稿数：22

④考察／アプリは、ウェブサイトにはないメリットも多いが、ダウンロードが必須となる為、ダウンロードを促す動機付けと周知が最も重要となる。今年度は、告知に十分な費用と時間を割けなかったことが、ダウンロード数が伸び悩んだ一因となった可能

性が高い。特に、市内の受入施設等の関係者にも周知を徹底し、更に市民に認知されることで、相乗効果が期待できるため、次年度は市内向け周知の強化を図り、ユーザーの更なる獲得を目指したい。

紙媒体かデジタル媒体か、どちらを優先させるべきかという点については難しいが、紙媒体の需要もある為、既存の紙媒体と本アプリのようなデジタルツールの、より効果的な併用活用を行う。

3. ブルーグリーンイベント開催事業

高島の自然や歴史観光資源の保全と発信活動に携わる市内観光ガイド団体と連携し、観光資源の更なる磨き上げや、高島ファンの醸成へと繋げることを目的に、ＪＲハイキングの事業を活用した企画を造成、イベントを実施した。

今後も、独自の旅行商品の定着を目指し、継続的な観光資源の維持・発信、リピーター獲得へと繋げる。

1）ハイキングイベントの実施

6 種、計 7 回のハイキングイベントを企画。内 2 回はコロナの影響により中止となり計 5 回実施した。

〇ハイキング実績

実施日	タイトル	参加数
4/3（土）	野生・巨木の桜エドヒガンハイキング	19
5/15（土）	新緑の清水山城ハイキング	19
9/23（木）	ヒガンバナハイキング	中止
11/3（水･祝）	鯖街道「根来坂峠」と「おにゅう峠」ﾄﾚｯｷﾝｸﾞ	12
11/10（水）	鯖街道「根来坂峠」と「おにゅう峠」ﾄﾚｯｷﾝｸﾞ	8
11/23（火･祝）	紅葉の清水山城ハイキング	22
2/12（土）	ザゼンソウハイキング	中止

4. 歴史観光資源の定着化事業（市委託）

令和元年度は受入体制強化を目的に観光モデルコースの造成・商品化を進め、歴史を核とした観光情報の整備を行った。続く令和 2 年度は体験型ツアーを造成・実施し、各所への情報発信強化を行った。

3 年目となる令和 3 年度は､過年度の成果をもとに歴史観光資源の定着を目指すため、恒常的な情報発信手段の整備・観光客のおもてなし体制強化を目的とした事業を実施した。

1)　戦国・歴史観光特集ウェブページの作成

歴史観光を目的とするネットユーザーの利便性の向上と、恒常的な情報発信を行う為、観光協会公式ホームページ内に特集ページ「歴史観光特集」を作成した。

・ページ公開／10 月 1 日～

・誘導バナー設定／11 月 1 日～

○アクセス実績

	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
特集ﾍﾟｰｼﾞｱｸｾｽ数	253	262	73	75	102	159
誘導ﾊﾞﾅｰｸﾘｯｸ数	―	95	39	24	38	66
備　考		誘導ﾊﾞﾅｰ設定				

2）誘致活動

集客が期待できる体験型ツアーを商品化し、旅行会社との商談会や観光キャンペーンに参加して誘致活動を実施した。

実施日	名　称	内　容	担当
7/13	びわこビジターズビューロー国内旅行誘致部会主催「関西地区旅行会社説明会及び商談会」	14 社 38 名の商品企画造成・仕入・販売担当者に対し、プレゼンテーション	遠藤
7/15	びわこビジターズビューロー国内旅行誘致部会主催「中京地区旅行会社説明会及び商談会」	10 社 14 名の商品企画造成・仕入・販売担当者に対し、プレゼンテーション	竹内
3/18	びわこビジターズビューロー主催　観光物産イベント（東京観光案内所　「ＴＩＣＴｏｋｙｏ」前広場　東京駅）	観光ＰＲ及び物産販売	遠藤 古北

3）観光ガイド育成

市内で活動される観光ガイドやガイドグループを対象に、「ガイドの心得」や「トラブルへの備え」、「ウィズコロナのガイディング」について学ぶセミナーを開催した。

実施概要／日時：令和 4 年 3 月 16 日　13:30～16:00

場所：高島市観光物産プラザ　2 階視聴覚室

講師：ＮＰＯ法人横浜シティガイド協会　理事　嶋田昌子氏

参加者：15 名

5. 駅から散策マップの作成（市委託）

主に公共交通機関での来訪客向けに、駅周辺散策マップの作成を行った。
本年度においては、ＪＲマキノ駅・新旭駅・安曇川駅の各駅周辺の食事処や買い物ができる店舗を中心に紹介、旅ナカ情報を補完できるような構成とした。マップは各駅の観光案内所等の窓口へ設置した。

・作成部数／日本語版 1800 部×3 種、英語版 1500 部×3 種
・その他／マップの編集可能なデータの版権は観光協会帰属とし、今後必要に応じデータの修正および増刷に柔軟に対応を行うこととする。

Ⅲ．観光振興継続事業

1. 情報発信事業

国内観光誘致を図るプロモーションツールとして半期毎の滞在型観光誘致パンフレット、基礎ツールとして総合マップの作成を行い、市外・県外への計画的かつ戦略的な情報発信、特に旅行会社造成担当窓口およびメディア等への情報発信強化を行い、滞在型観光誘致を図った。

1）パンフレット等の作成

①滞在型観光誘致パンフレットの作成（市委託）

半期毎に滞在型の観光商品の紹介を含む誘致パンフレットの作成を行った。配布、設置先については、市外・県外の拡充、および旅行会社・メディア等への配布強化を積極的に行った。

・名称／びわ湖たかしま旅季行
・発行日／上期／秋冬号　8 月 31 日　・　下期／春夏号　2 月 24 日
・発行部数／各 20,000 部

②総合マップの作成（市委託）

総合案内ツールとして不可欠なパンフレットであり、校正を加え増刷した。

・名称／びわ湖高島観光Navi
・発行部数／25,000 部

③びわ湖高島周遊ガイドブックの作成

過年度にキャンペーン実施のために作成したガイドブックを通年版として改訂し、観光案内時に随時活用した。

・発行日／8 月 31 日
・発行部数／15,000 部

④アウトドア情報発信ツールの作成

過年度のアウトドアフォトコンテストの応募作品を活用し、アウトドアのＰＲができるイメージポスターを、春夏用、秋冬用それぞれに作成した。

・作成日／3 月 10 日

・作成部数／春夏用・秋冬用（各　大・小サイズ）

計 4 種　各 100 枚　計 400 枚

2）ウェブ情報発信業務

①公式ホームページ「びわ湖高島観光ガイド」

新着情報（お知らせ）やイベント情報等、タイムリーな情報を随時発信した。

アクセス：2,625,738ＰＶ（2021.1.1～2021.12.31）（昨年対比 101%）

ブログ投稿：83 回

②ＳＮＳを活用した情報発信

フェイスブック：64 回、インスタグラム：69 回

③びわこビジターズビューロー公式ホームページ「滋賀県観光情報」や、その他、各種メディア等のウェブサイトへの恒常的な情報提供を行った。

3）広告宣伝・情報提供

①ウェブ・雑誌・新聞等を活用し、有料広告掲載を行った。

・びわこビジターズビューロー公式ホームページ「滋賀県観光情報」広告掲載

1 回目／期間：10 月 11 日～11 月 7 日（4 週間）

内容：びわ湖高島 紅葉絶景×歴史ハイキング　他、秋情報

2 回目／期間：10 月 18 日～10 月 24 日、11 月 29 日～12 月 19 日（4 週間）

内容：観光アプリスタンプラリーキャンペーン　他、秋冬情報

3 回目／期間：2 月 28 日～3 月 27 日（4 週間）

内容：たかしま 3 大桜街道と花めぐり　他、春情報

・京都新聞「滋賀の観光企画」

掲載日／11 月 19 日（金）朝刊本誌掲載、5 段 1/2 カラー

内容／メタセコイア並木の紅葉、観光アプリスタンプラリーキャンペーン

・フリー冊子「ふぁにぷろ 2021 秋冬号」

発行日／10 月 22 日　50,000 部発行

配布エリア／福井・石川・岐阜・滋賀

内容／秋冬観光情報、観光アプリ・フォトコンテスト告知等

②各種メディア等への情報提供、情報確認業務に努めた。（無料掲載）

・雑誌・新聞等、紙媒体への情報提供　　73 件

	媒体名	内容	発行
4月	㈱京阪神エルマガジン社 【関西花のおでかけ MOOK】	ノウルシ群生地	4 月
	㈱昭文社 【ご当地絶景　関西】	おにゅう峠	5 月
	㈱リクルート 【関西・中国・四国じゃらん】	メタセコイア並木	7 月
	㈱リクルート 【関西・中国・四国じゃらん】	メタセコイア並木	7 月
	表示灯㈱ 【ペーパーナビタ】	メタセコイア並木・白鬚神社・祭・大溝城跡・高島ロングライド	5 月
	㈱リクルート 【関西・中国・四国じゃらん】	メタセコイア並木	8 月
	㈱JTBパブリッシング 【るるぶ観光データベース】	知内浜オートキャンプ場	6 月
	宝島社 【はじめてのキャンプ完全ガイド』	六ツ矢崎浜オートキャンプ場	6 月
	㈱リクルート 【東海じゃらん】	メタセコイア並木	6 月
	㈱京阪神エルマガジン社 【with コロナの休日ガイド】	レンタサイクル（マキノエリア）	7 月
6月	㈱リクルート 【関西・中国・四国じゃらん】	おにゅう峠・小入谷の雲海・紅葉	5 月
	㈱リクルート 【じゃらんニュース】	ヒガンバナ群生地	7 月
	㈱京阪神エルマガジン社 【絶景×おいしいドライブ】	メタセコイア並木 マキノサニービーチ	7 月
	㈱リクルート 【関西・中国・四国じゃらん】	おにゅう峠の紅葉	9 月
	㈱KADOKAWA 【東海ウォーカー　海・湖】	白鬚神社・メタセコイア並木 風車街道・マキノサニービーチ等	8 月
	日新航空サービス㈱ 【発酵のまち　高島】	川島酒造・淡海酢・ヤサカ 栃生梅竹・総本家喜多品老舗	11 月
	㈱JTBパブリッシング 【ノジュール 7 月号】	針江生水の郷・大溝城下町	6 月
7月	㈱リクルート 【関西・中国・四国じゃらん】	小入谷の雲海・紅葉	9 月

7月	㈱ファニープロダクション 【ふぁにぷろ夏号】	マキノ高原温泉さらさ・くつき温泉 てんくう・マキノピックランド　他	8 月
	㈱リクルート 【東海じゃらん】	小入谷の雲海・紅葉	9 月
	㈱スポニチパートナー 【近江鉄道　滋賀県 MAP】	2021 トレッキングアクセスマップ	9 月
	㈱ループコーポレーション 【AYA 通信】ｱﾔﾊｸﾞﾙｰﾌﾟ広報誌	メタセコイア並木 サイクリングスポット	10 月
8月	(公社)びわこﾋﾞｼﾞﾀｰｽﾞﾋﾞｭｰﾛｰ 【ウェルカム関西ガイドマップ】	生杉ブナ原生林	11 月
	㈱JTBパブリッシング 【るるぶ観光データベース】	生杉ブナ原生林	9 月
	㈱昭文社 【ことりっぷ　滋賀】	白鬚神社・海津大崎	11 月
	JR西日本㈱ 【観光素材集】	高島市観光情報	10 月
	㈱陸風社(JR西日本) 【電車＆ウォーク】	メタセコイア並木	10 月
9月	㈱廣済堂 【ﾆｯｻﾝｶｰﾄﾞｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ 2021】	メタセコイア並木	10 月
	㈲どんぐり・ハウス 【地球の歩き方　日本】	藤樹書院	1 月
	JR西日本㈱ 【西Navi　11 月号】	紅葉特集　メタセコイア並木	11 月
	㈱主婦と生活社 【週刊女性】	桂浜園地の彼岸花	9 月
	㈲企画工房 【ダスキン】	メタセコイア並木	9 月
	㈱リクルート 【じゃらん公式インスタグラム】	メタセコイア並木	10 月
	㈱リクルート 【東海/関西・中国・四国じゃらん】	メタセコイア並木	10 月
	㈱旅工房 【旅ポケット】	おにゅう峠	10 月
10月	㈱流行発信 【月刊Cheek】	メタセコイア並木	10 月
	㈱昭文社 【まっぷるドライブ関西中国四国】	海津大崎の桜	1 月
	㈱リクルート 【関西四国中国じゃらん 2・3 月号】	メタセコイア並木	11 月

10月	㈱リクルート 【じゃらんニュース】 冬 絶景	メタセコイア並木	11 月
	㈱昭文社 【ことりっぷマガジン】	メタセコイア並木	12 月
	㈱京阪神ｴﾙﾏｶﾞｼﾞﾝ社 【愛犬と泊まりたい いい宿（仮）】	メタセコイア並木	11 月
11月	㈲エヌツー 【春夏秋冬ぴあ関西版 2022】	ヒガンバナ	12 月
	㈱大和書房 【道ばた仏像さんぽ】	鵜川四十八躰石仏群	3 月
	㈱京都新聞社 【週刊Iru・miru】	メタセコイア並木	11 月
	㈱昭文社 【まっぷる情報】	小入谷	12 月
12月	㈲エヌツー 【春夏秋冬ぴあ関西版 2022】	桂浜園地	3 月
	（協組）ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃｸﾉﾛｼﾞｰ関西 【JR西日本】	ザゼンソウ群生地	12 月
	㈱JTBパブリッシング 【るるぶ滋賀びわ湖’23】	乙女ヶ池・海津大崎・大崎寺 今津浜水泳場・畑の棚田	3 月
	㈱昭文社 【まっぷるマガジン滋賀】	海津大崎・小入谷・大崎寺・ 鵜川四十八体石仏群	3 月
	滋賀県観光振興局 【道の駅ﾌﾘｰﾍﾟｰﾊﾟｰ滋賀県版】	春祭り・市内イベント・お花見スイーツ・新緑のメタセコイア並木	3 月
1月	㈱エデットプラス 【るるぶ滋賀】	マキノサニービーチ高木浜オートキャンプ場	3 月
	㈱JTBパブリッシング 【るるぶ観光】	海津大崎の桜	3 月
	㈲パーソナル企画JTB 【大人の日帰り旅関西 2023】	海津大崎の桜	3 月
	㈱リクルート 【じゃらんニュース】	メタセコイア並木	2 月
	生活協同組合コープこうべ 【青春18きっぷで行く、大人旅！】	海津大崎の桜	3 月
	（公社）びわこﾋﾞﾀｰｽﾞﾋﾞｭｰﾛｰ 【西Navi 3 月号】	海津大崎の桜並木・ﾚﾝﾀｻｲｸﾙ・ 湖里庵	2 月
	㈲エヌツー 【関西版日帰りドライブぴあ】	ノウルシ群生地	3 月
	㈱エデットプラス 【るるぶ滋賀 23】	桂浜園地	3 月

2月	㈱KADOKAWA 【東海ウォーカー春号】	海津大崎の桜	3 月
	(公社)日本観光振興協会 【全国観るなび さくら】	海津大崎の桜	2 月
	㈱K＆Bパブリッシャーズ 【大人の日帰り旅名古屋・東海】	メタセコイア並木・高島びれっじ	3 月
	㈲エヌツー 【関西版日帰りドライブぴあ】	メタセコイア並木 葉山珈琲メタセコイアガーデン店	3 月
	㈱リクルート 【じゃらん大人のちょっと贅沢な旅】	白鬚神社	3 月
	(公社)びわこビジターズビューロー 【CREA 滋賀県 2021 年版】	カキツバタ群生地	3 月
	滋賀県交通戦略課 【電車でぐるっとびわ湖ぐるりん旅】	びわ湖巡りの旅ﾓﾃﾞﾙｺｰｽ 近江高島駅～大溝城下町・白鬚神社	3 月
	ワイ・エム・エス㈱ 【ｵﾆｷｽﾌﾟﾚｽ】【ﾌﾗｯﾄ7ﾌﾟﾚｽ】4 月号	メタセコイア並木	4 月
	㈱ゲイン 【KELLY 5 月号】	メタセコイア並木・海津大崎の桜・白鬚神社	3 月
3月	㈱ファニープロダクション 【ふぁにぷろ 春号】	海津大崎の桜・ﾏｷﾉ高原千本桜・清水の桜	3 月
	㈱KADOKAWA 【関西日帰りドライブウォーカー】	メタセコイア並木・マキノ高原温泉さらさ	3 月
	㈱チェキポン 【チェキポン 4 月号】	メタセコイア並木・マキノピックランド	3 月
	㈱TM オフィス 【塞王の盾】ゆかりのスポット	海津大崎・鮒寿し魚治	3 月
	㈱エフィール 【関西ウォーカー2022】	メタセコイア並木	6 月
	㈱陸風社 【電車＆ウォーク】	大溝祭	5 月

・ウェブへの観光情報提供　　44 件

	媒体名	内容	公開
4月	読売旅行㈱ 【たびよみ】ﾚﾝﾀｻｲｸﾙﾓﾃﾞﾙｺｰｽ	マキノエリア	5 月
	日本ﾋﾞｼﾞﾈｽｱｰﾄ㈱ 【大阪ガス通信】	メタセコイア並木	6 月
6月	㈱リーフ・パブリケーションズ 【Leaf】	今津浜水泳場	7 月

6月	(協組)ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃｸﾉﾛｼﾞｰ関西 【湖西エリアスポット情報】	マキノサニービーチ	6 月
	㈱インタースペース 【RECOTORI(レコトリ)】	メタセコイア並木	6 月
	鉄道情報システム㈱ 【2021 年紅葉色づき情報】	メタセコイア並木紅葉	9 月
7月	㈱昭文社 【紅葉特集 2021】	生杉ブナ原生林	8 月
	㈱リクルート 【アプリマガジン週刊じゃらん】	メタセコイア並木紅葉	8 月
	(協組)ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃｸﾉﾛｼﾞｰ関西 【じゃらん net】	湖岸景観・湖里庵　他	8 月
8月	㈱旅工房 【旅ポケット】	小入谷の雲海・紅葉	10 月
	(公社)日本観光振興協会 【観るなび　紅葉】	興聖寺・小入谷の紅葉	9 月
	㈱リクルート 【じゃらんニュース】	小入谷の雲海・紅葉	10 月
9月	日本ﾋﾞｼﾞﾈｽｱｰﾄ㈱ 【大阪ガス通信】	小入谷の雲海・紅葉	9 月
	株式会社リクルート 【じゃらんニュース】冬の絶景ｽﾎﾟｯﾄ	メタセコイア並木	11 月
	㈲クルーズ 【ﾌﾟﾗｳﾄﾞｼﾃｲ大津京物件 HP】	海津大崎・メタセコイア並木・ 平池のカキツバタ	10 月
	㈱Clay 【eoおでかけ】「関西紅葉特集」	メタセコイア並木	10 月
10月	㈱昭文社【まっぷる観光情報】 初日の出特集 2022	風車街道	12 月
	㈱イベントバンク 【EventBankプレス】 紅葉・見ごろ	メタセコイア並木	11 月
	(公社)びわこﾋﾞｼﾞﾀｰｽﾞﾋﾞｭｰﾛｰ 【CREA Web】	メタセコイア並木	11 月
	㈱リクルート 【じゃらん公式インスタグラム】	メタセコイア並木	11 月
	㈱JTBパブリッシング 【るるぶ＆more.】等	初日の出(風車街道)	11 月
11月	㈱KADOKAWA 【ウォーカープラス】	白鬚神社	12 月
	㈱エイチ・アイ・エス オウンドメディア【catchy】	メタセコイア並木	11 月

12月	㈱昭文社 【まっぷる　お花見特集 2022】	海津大崎	3 月
	(一社)中央日本総合観光機構【ようこそ昇龍道】	メタセコイア並木	1 月
	日本ﾋﾞｼﾞﾈｽｱｰﾄ㈱ 【大阪ガス通信】	乙女ヶ池	1 月
	㈱ランドマーク(㈱ニコン) 【NICOSTOP 滋賀撮影スポット】	湖岸緑地(桂浜園地)・中庄浜	1 月
	(公社)日本観光振興協会 【全国観光情報】	観光案内所・山岳・高原・湖沼・河川景観・湖岸景観他	1 月
1月	近畿日本ツーリスト㈱	メタセコイア並木・海津大崎の桜	2 月
	日本ﾋﾞｼﾞﾈｽｱｰﾄ㈱ 【フェイスブック「大阪ガス通信」】	メタセコイア並木	2 月
2月	(協組)ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃｸﾉﾛｼﾞｰ関西 【JRじゃらん】	朽木の桜・海津大崎の桜	4 月
	㈱TKG 【住友林業きこりんの森】	メタセコイア並木	3 月
	(協組)ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝﾃｸﾉﾛｼﾞｰ関西 【JRじゃらん】	川上祭	3 月
	㈱レックス 【ウォーカープラス】	海津大崎の桜・清水の桜	3 月
	㈱リクルート 【じゃらんニュース】	海津大崎の桜	3 月
	㈱YAMAKO(全日空) 【Travel&Life】【たび図鑑】	メタセコイア並木	3 月
3月	トリクル合同会社 【じゃらんニュース】	メタセコイア並木	3 月
	㈱Clay 【eoおでかけ】	海津大崎の桜	3 月
	㈱阪急交通社	海津大崎の桜	4 月
	日本航空㈱ 公式フェイスブック	海津大崎の桜	4 月
	(公社)BVB・日本観光振興協会 【日本観光ショーケース】	海津大崎の桜・白鬚神社	3 月
	㈱リクルート 【じゃらんニュース】	カキツバタ群生地	4 月
	㈱JTB トラベル＆ライフ 【ウェブマガジン】	海津大崎の桜	3 月
	佐川印刷㈱・㈱JTB 【トラベル＆ライフ】	海津大崎の桜・清水の桜	3 月

4）各種 DM 発送業務

・関西、中京方面を中心とした主要道の駅や観光関連施設、県内主要宿泊施設や観光施設、観光案内所等へタイムリーな観光パンフレット等を発送

9 月　150 件

3 月　150 件

・びわこビジターズビューローの DM 活用（個人・メディア・旅行会社等）

9 月　1,600 件

3 月　1,600 件

・全国旅行業協会員の旅行会社に対し DM 発送（関西・中京方面中心）

9 月　435 件

3 月　418 件

2. 誘致事業

コロナ禍により減少した観光客を呼び戻すため、旅行会社へのプラン提案、市外キャンペーンなどを強化して「滞在型」と「周遊」を促進、ツアー団体ならびに個人旅行者の誘致活動を展開した。但し、市外キャンペーンはコロナの影響により中止が相次いだ為、次年度に機会があれば積極的に参加したい。

また、次年度以降の誘致活動のプロモーションツール等に広く活用する為の写真素材を収集するべく、フォトコンテストを実施した。

1）フォトコンテスト

誰もが手軽にスマートフォンからも応募が出来るよう、ウェブシステムを活用して募集を行った。なお、アウトドア部門（人物入り）と一般観光（景勝地等）部門とテーマを設け、広く募集を行った。

・募集期間／7 月 1 日～2 月 15 日

・応募点数／484 点

・応募人数／178 名

2）誘致営業活動

びわこビジターズビューロー主催による商談会に参加した。また、九州地区へは、冬期のスキー修学旅行誘致および動向調査を主な目的として、単独営業を行った。

○営業実績

日時	名称	内容
7 月 9 日	びわこビジターズビューロー国内旅行誘致部会主催　首都圏旅行会社説明会及び商談会	9 社 19 名の商品企画造成・仕入・販売担当者に対し、プレゼンテーション

7 月 9 日	びわこビジターズビューローインバウンド部会主催 首都圏旅行会社向け商談会	13 社 23 名のインバウンド取扱ランドオペレーター・旅行会社にプレゼンテーション
7 月 13 日	びわこビジターズビューロー国内旅行誘致部会主催 関西地区旅行会社説明会及び商談会	14 社 38 名の商品企画造成・仕入販売担当者にプレゼンテーション
7 月 15 日	びわこビジターズビューロー国内旅行誘致部会主催 中京地区旅行会社説明会及び商談会	10 社 14 名の商品企画造成・仕入販売担当者にプレゼンテーション
12 月 3 日	びわこビジターズビューロー国内旅行誘致部会主催 中京地区旅行会社説明会及び商談会	9 社 13 名の商品企画造成・仕入・販売担当者にプレゼンテーション
3 月 2 日	びわこビジターズビューロー国内旅行誘致部会主催 関西地区旅行会社説明会及び商談会	10 社 25 名の商品企画造成・仕入・販売担当者にプレゼンテーション
3 月 14 日 ～16 日	九州地区 旅行会社訪問	スキー修旅取扱旅行会社 佐賀県 5 社・長崎県 4 社 鹿児島県 5 社

3. インバウンド誘致・受入態勢強化事業（市委託）

①国内商談会参加

VJTM（VISIT JAPAN TRAVEL& MICE MART）に参加した。

当初は、インテックス大阪での対面開催の予定だったが、コロナ禍の影響で、完全オンラインにて開催された。主催者から地域で纏めて出展を要請された為、びわこビジターズビューローを事務局として、びわ湖大津観光協会と協同で出展した。

・開催日／3 月 1 日～3 日
・商談数／東アジアを中心とした各国インバウンド取扱旅行会社　30 社
・通訳／高島市地域通訳案内士 1 名
・成果／造成商品への幾つかの引き合いがあった。今後別途情報提供を行い、インバウンド回復時の送客に繋げていく。

②モニターツアー

日本在住の外国人をモニターとして開催した。ヒアリングやアンケート等を用いて、商品のブラッシュアップを図った。

・開催日／11 月 20 日～21 日（1 泊 2 日）
・通訳ガイド／高島市地域通訳案内士 2 名

・モニター／京都日本語学校の生徒 10 名＋引率者 1 名
中国 4 名、韓国 1 名、フランス 1 名、イタリア 2 名、
アメリカ 1 名、ベネズエラ 1 名
・内容／柿収穫体験＆柿カフェ、琵琶湖漁見学、サイクリングツアー等
・成果／モニターツアーでの、コンテンツの検証を経て、3 本の商品化に繋げた。

③オンラインモニターツアー
高島市地域通訳案内士の案内による外国人向けのオンラインツアーのモニタリングを実施、検証等を行った。
・開催日／1 月 10 日　19:00～20:00
・ツアーガイド／高島市地域通訳案内士３名
・モニター／計 20 名
イギリス 8 名、ドイツ 3 名、カナダ 1 名、ジョージア 1 名、
オーストラリア 1 名、ニュージーランド 1 名、日本 5 名
・構成／自然・アクティビティに関心の高い欧米個人客をメインターゲットとし、高島の強みであるアウトドア環境を活かした PR ができるよう「レンタサイクルで行く 1 日観光コース紹介」をテーマに、周辺スポット・グルメ・お土産・体験等を組み入れ、京都からのアクセスや通訳案内士独自のプラン情報を紹介する構成とした。

④スノーアクティビティのＰＲ
びわこビジターズビューローの海外向け事業の一環で実施される予定であったスノーリゾートＰＲ事業での情報提供を予定していたが、コロナの影響により変更となった為、国内向け情報提供に留まった。

4. 広域連携事業
令和 5 年度末に見込まれる北陸新幹線敦賀延伸に伴い首都圏からの観光客の動きが変化することが見込まれる。首都圏に向けて多くの情報発信を行っている若狭湾観光連盟との協働事業や、北びわ湖広域観光協議会事業（長浜市との連携事業）により広域連携の拡大を図った。
①若狭湾観光連盟との連携（市補助）
・若狭高島広域観光パンフレットの作成（改定版）
名称／若狭路湖西ぐるっと周遊まんぞくマップ
作成部数／合計 92,000 部　（高島配分 39,000 部）
・ドライブスタンプラリー開催
若狭湾観光連盟と共同で、JAF（日本自動車連盟）が提供するデジタルコンテン

ツの「ドライブスタンプラリー」機能を使用し、若狭湾エリア＆びわ湖高島をめぐる「ぐるっとドライブスタンプラリー」を実施した。

実施期間／10 月 1 日～12 月 31 日

開催内容／４つのモデルコース各コースに 10 箇所のスタンプスポットを設け、スタンプ 5 箇所以上取得を応募条件として、応募者に抽選で賞品を進呈した。

利用実績／参加者／535 名、スタンプ取得／1,949 件、クリア／102 名

②北びわ湖広域観光協議会

北陸新幹線敦賀延伸をにらみ、敦賀方面からの誘客も見込んだ、高島市と長浜市の広域観光パンフレットを作成した。

・作成部数／10,000 部
・掲載内容／高島市、長浜市の当日参加可能な体験観光情報、広域マップ等
・配布先／市内外観光関連施設、敦賀駅近隣、長浜市内他

5. 旅行業務取扱事業

①着地型旅行の主催（受付、手配、催行）

主催ツアー、市内団体が企画する着地型ツアーの受付、手配等を行った。

実施日	団体名・タイトル	人数	備　考
9 月 1 日～2 日	高島ドローン撮影ツアー 京都外国語大学	10	受注ツアー
11 月 7 日	晩秋の高島トレイル 高島トレイル連携協議会	11	受注ツアー
12 月 2 日	誘致推進部会事業 視察研修ツアー	15	

②教育旅行、団体旅行の受付、手配、催行

協会が窓口となって教育旅行、団体旅行等の手配業務を行った。

開催	タイトル	人数	備　考
4 月中旬	伊藤忠商事株式会社 新人研修（予定 140 人）	－	コロナの為、中止
5 月 28 日	中北薬品株 新人研修（予定 80 人）	－	コロナの為、中止
7 月 12 日～13 日	名古屋市立若葉中学校 3 年生 修学旅行	94	宿泊・体験手配

9 月 6 日	神戸市立井吹台中学校	―	コロナの為、中止
9 月 16 日	神戸市立大塚台中学校 3 年生 修学旅行	―	コロナの為、中止
9 月 21 日～22 日	江南市立古知野中学校 3 年生 修学旅行	―	コロナの為、中止
10 月 13 日	明石市立衣川中学校 3 年生 修学旅行	135	体験手配
11 月 5 日	神戸市立湊川中学校 3 年生 修学旅行	117	体験手配
11 月 7 日・8 日	クラブツーリズム関西テーマ旅行「小入谷と禅智院」	27	禅智院　手配

③各種大会運営に関する受付、手配

開催	タイトル	人数	備　考
5 月 3 日～5 日	京都サッカースポーツ少年団連盟チャレンジカップ U-11 宿泊・弁当手配	―	コロナの為、中止 （予定 250 名）

6. 受入体制整備事業

1） レンタサイクル事業

①駅案内所等を貸出窓口として利用して、レンタサイクルを活用した観光を促進した。利用実績／年間 3,264 台

○レンタサイクル利用実績

月	マキノ駅	近江今津駅	新旭駅	安曇川駅	近江高島駅	合計	前年対比
4 月	265	27	63	17	62	434	1206%
5 月	120	42	40	17	97	316	-
6 月	55	18	29	18	90	210	133%
7 月	120	25	53	19	121	338	455%
8 月	75	37	22	8	123	265	94%
9 月	0	0	0	0	0	0	0%

10 月	130	40	73	31	99	373	338%
11 月	401	51	63	20	114	649	219%
12 月	217	16	23	10	53	319	239%
1 月	0	4	0	1	7	12	26%
2 月	0	2	8	4	26	40	59%
3 月	107	26	44	17	114	308	149%
計	1,490	288	418	162	906	3,264	119%

②サイクリングによるビワイチ事業の推進のために、大阪で開催された自転車関連イベントに、県観光交流局と共同で参加し観光ＰＲを行った。

イベント名／「ＣＹＣＬＥ ＭＯＤＥ ＲＩＤＥ ＯＳＡＫＡ２０２１」
開催場所／万博記念公園　東の広場
開催日時／7 月 24 日　9:30～17:00
入場者数／約 8,600 人
実　　績／パンフレット配布数　1,900 部

③日々のメンテナンス及び年 1 回の全車両整備点検を行った。

2）市内外関係機関との協力

①実行委員会、協議会等への参画

びわこビジターズビューロー
びわこキャンペーン推進協議会
北びわ湖広域観光協議会
高島市産業連携推進協議会
高島くつきトレランレース実行委員会
四季遊園マキノ交流促進協議会　他

②事務局業務の受託

高島市観光ボランティアガイド連絡協議会
たかしまアウトドア推進協議会
高島トレイル連携協議会

③名義後援等での協力

催事名	主催者	開催場所	開催日
第 16 回びわ湖高島ジュニアサッカーサマーカーニバル	京都新聞社	今津総合運動公園	7/31～8/1
第 3 回びわ湖・高島カップ女子ソフトボール大会	びわ湖・高島カップ女子ソフトボール大会実行委員会	今津総合運動公園	8/14～8/16（中止）
第 31 回近畿私立高等学校女子ソフトボール選抜大会	近畿私立高等学校女子ソフトボール連盟	今津総合運動公園	8/25～8/27
第 2 回比良トレイルラン 2021	比良トレイルラン実行委員会	大津市伊香立～高島市黒谷	10/2
第 2 回「ひかり奏でる丘ローザンイルミ」	㈱メリーデイズ	ローザンベリー多和田・イングリッシュガーデン	10/8～2/14（12/26～中止）
高島市民クルーズ	琵琶湖汽船㈱	琵琶湖汽船今津港	11/1～12/31

Ⅳ. 観光物産振興事業

1）通信販売事業

ネット通販等通信販売は広域へのＰＲ効果が期待でき、またコロナ禍で実店舗での売上が落ちるとＥＣが動く傾向があり、実績の平準化を図る上でも重要な取り組みである。

①「たかしま・まるごと百貨店」の商品を中心に自社 EC サイトで販売を実施した。

実績　97 件　734,256 円　前年度比 87%

②びわ湖高島えんむすび事業（高島市のふるさと納税事業）に参画して、返礼品を提供した。品目の変更の影響があり前年実績を下回った。

・髙島屋洛西店経由　　実績　162 件　981,420 円　前年度比 65%

・JTB 経由　　実績　54 件　373,800 円　前年度比 86%

③髙島屋オンラインでの販売を実施した。

実績　22 件　171,600 円　前年度比 46%

④楽天市場ＥＣ事業（市補助事業）

前年度に引き続き楽天市場モールで高島市物産のＰＲと販売を実施した。

参画事業者　20 件　　登録商品　35 点

販売実績　　60 件　263,940 円　前年度比 327%

・期間を限って広告キャンペーンを実施して販促を進めた。

期間　3/7～3/15

期間中売上　12 件　50,988 円

参画事業者、商品は前年度より増え、広告キャンペーンも一定の効果が見られたが、事業の採算性、経済効果から見ると十分な結果には程遠い。次年度以降に EC 事業全体について検討が必要になると思われる。

2) たかしま・まるごと百貨店の運営

市内に置いた実店舗も開業後 7 年目を迎え、市内産品の直売施設として定着してきている。商品情報の充実や、包装、配送などの顧客サービスの充実で道の駅との差別化を図っている。

①店舗での物産販売

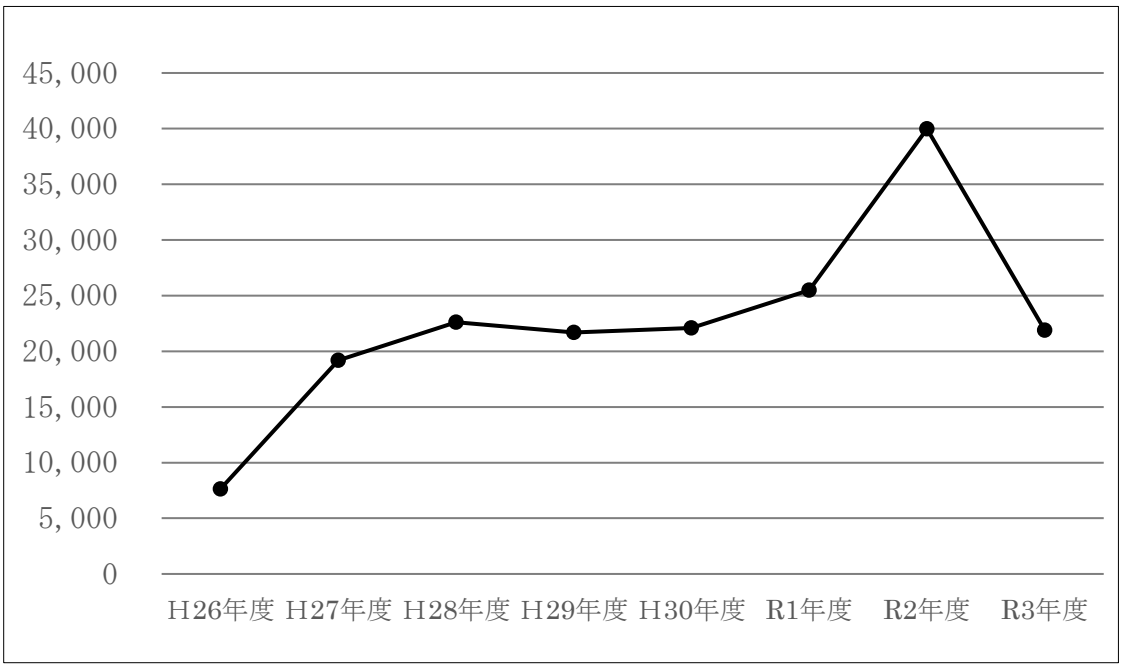
観光物産展示直売所たかしま・まるごと百貨店（ＪＲ新旭駅前）で物産品の販売を実施した。

○たかしま・まるごと百貨店売上実績

	売上高（円）	前年度売上高（円）	前年比
4 月	2,049,692	6,210,692	33%
5 月	1,661,373	3,822,646	43%
6 月	2,241,198	6,730,166	33%
7 月	5,300,590	6,854,629	77%
8 月	2,294,813	4,863,072	47%
9 月	1,180,731	2,480,703	48%
10 月	1,320,610	1,654,351	80%
11 月	1,071,728	1,646,494	65%
12 月	826,389	1,602,388	52%
1 月	1,071,526	936,320	114%
2 月	997,869	1,411,016	71%
3 月	1,886,115	1,762,245	107%
計	21,902,634	39,974,722	55%

通年の売上高は前年比で 55%、前々年比で 86%の実績となった。1 月～3 月には前年比でわずかながら改善が見られる。次年度春以降の動向を見ながらの判断が必要と思われる。

○たかしま・まるごと百貨店売上の年次変動（千円）



令和 2 年度はコロナ禍の影響による特例的な売上の増大の影響があったので比較が困難だが、令和元年度と比較しても本年度は売上が減少している。原因としてはコロナ禍の影響による入込の減少が響いていると思われる。

②店舗の充実を図る活動

・商品の拡充

商品の品目数を充実させるとともに、参画事業者を増加を図った。本年度中に新たに 5 社の事業者が参画した。

・店舗設備の改善

令和元年度より計画的に什器類の整備を進めている、本年度は衣料品エリアの什器を中心に更新を実施した。

③店舗外の物産販売等

・近鉄草津店高島市コーナーでの物産販売

前年度 12 月より常設販売の高島市コーナーを新設して販売を実施してる。そのこともあり年間を通じて前年度比 170%の売り上げを記録した。

○近鉄草津店高島市コーナー売上実績

期 間	売上高（円）	前年度売上高（円）	前年比
3/16～4/15	251,937	93,246	270%
4/16～5/15	249,244	68,687	363%
5/16～6/15	215,889	76,853	281%
6/16～7/15	207,771	94,273	220%
7/16～8/15	268,717	138,406	194%
8/16～9/15	208,323	101,513	205%
9/16～10/15	165,310	78,327	211%
10/16～11/15	214,311	95,297	225%
11/16～12/15	222,730	93,033	239%
12/16～1/15	382,024	363,624	105%
1/16～2/15	154,672	166,217	93%
2/16～3/15	184,178	243,235	76%
計	2,725,106	1,612,711	169%

出品者は年度の前後で 13 社から 15 社に増加した。販売スペースはまだ十分にあり余裕があり、今後も高島市物産の貴重な常設販売店舗として商品充実の取り組みを進めていく必要がある。

・フルタ製菓メタセコイヤチョコレート等の卸売

高島市とフルタ製菓㈱の包括連携協定により開発、展開されているメタセコイヤシリーズ商品の市内観光施設、観光事業者等への卸売りを実施した。

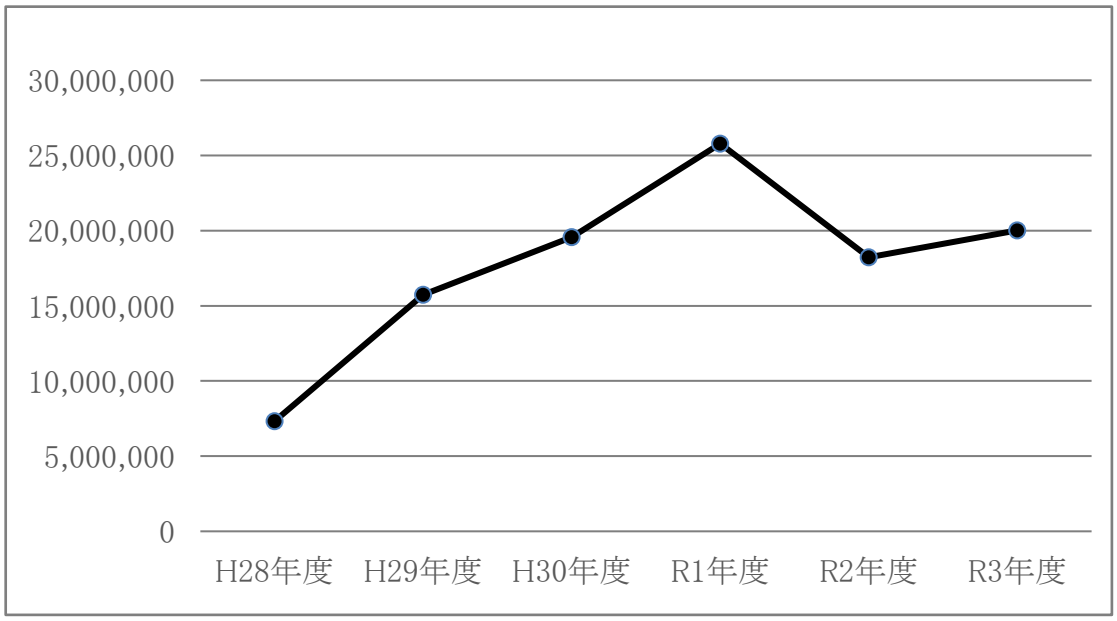
○フルタメタセコイヤシリーズ商品の年間売上実績

月	仕入高（円）	売上高（円）	前年度売上高（円）	前年比
4 月	2,487,996	2,779,272	1,253,772	222%
5 月	60,480	211,356	72,792	290%
6 月	226,800	546,372	183,384	298%
7 月	391,608	559,332	472,392	118%
8 月	706,860	786,780	1,587,816	50%

9 月	875, 448	607, 176	965, 412	63%
10 月	2, 559, 816	2, 498, 364	2, 852, 388	88%
11 月	3, 903, 984	5, 495, 364	6, 076, 728	90%
12 月	2, 995, 272	3, 401, 460	3, 147, 444	108%
1 月	776, 412	583, 848	220, 536	265%
2 月	771, 876	703, 728	715, 716	98%
3 月	1, 825, 740	1, 847, 232	682, 668	271%
年度計	17, 582, 292	20, 020, 284	18, 231, 048	110%

コロナの感染拡大の状況に左右されて不安定な売上が続いたが、通年では前年度を上回る実績を上げた。

○フルタメタセコイヤシリーズ商品の売上年次推移（円）



④ 観光案内

・ＪＲ新旭駅前にあり観光協会事務所に隣接する立地を生かし、新旭駅前観光案内窓口としての機能を果たした。

⑤ イベントの開催

たかしま・まるごと百貨店及び高島市物産品のＰＲ効果を高め知名度をベースアップすると共に、売上の上積みを企図してまるごと百貨店のイベントを毎年定例的に開催している。

・サマーフェアを開催

期間　7 月 10 日（土）～12 日（月）

実績　売上 2,285,316 円　前年比 89%

企画　恒例の 20%オフセールを実施、特価品の提供

内容　ちぢみ等夏向け商品が中心

有料広告（新聞紙面買取）の活用を予定していたが、コロナ禍に鑑みて実施しなかった。市内への新聞折り込みは実施した。

・感謝祭（新旭文化祭コラボイベント）

10%オフセール、特価品の提供を予定していたが、11 月開催予定の新旭文化祭が中止されたため中止した。

・スプリングフェアを開催

期間　3 月 26 日（土）～27 日（日）

実績　売上 317,160 円　前年比 54%

企画　10%オフセールを実施、特価品の提供

・ギフトシーズン対応

POP、特設展示で母の日、父の日のプッシュ商品の販促を図った。

母の日（5 月 2 日～5 月 9 日）、父の日（6 月 13 日～6 月 20 日）

3）物産展の開催・催事への出店

市内外で物産の出向宣伝販売を実施して、より広い層が高島市物産に直接触れる機会を作る取り組みを実施してる。コロナ禍で非常に困難な状況が続いているが可能な範囲で取り組んでいる。

①市外での観光物産のＰＲと販売（市委託事業）

・百貨店へのフェア出店は以下の通り計画していたが、コロナ禍の影響で本年度においては実施できなかった。

6 月　髙島屋洛西店（中止）

11 月　髙島屋京都店（中止）

11 月　髙島屋洛西店（中止）

・物産・観光イベントへの出店

10 月　東京日本橋高島市ＰＲイベント（中止）

2 月　旅まつり名古屋出展（中止）

3 月 18 日　TIC 東京滋賀県物産ＰＲ（東京）

実績　出店　3 社　売上　46,000 円

悪天候のため予想した集客がなかった。

3 月 19 日　全国植樹祭ＰＲイベント（京都市）

実績　出店　6 社　売上　73,970 円

悪天候のため予想した集客がなかった。
3 月 26 日　全国植樹祭ＰＲイベント（大阪市）
実績　出店　4 社　売上　37,480 円
悪天候のため予想した集客がなかった。

②市内での物産市開催やイベント出店
6 月　全国植樹祭プレイベント（中止）
9 月　トヨタラリーチャレンジ（中止）

物産展、イベントを通じての物産ＰＲについては、市外、市内ともに出展自体が難しい状況が続き、想定した実績を残すことができなかった

4）情報発信ツールの作成

①主催イベントのＰＲチラシ作成

サマーフェアおよびスプリングフェアのＰＲチラシを作成、市内新聞折り込み及び市内観光施設への配置を実施した。各 16,000 部作成。

②誘致営業活動用のパンフレット改定増刷

本年度においては物産振興メインの営業活動は実施できず、パンフレットは作成しなかった

5）情報発信

SNS の活用による情報提供、イベント情報等のメディア提供の取り組みを行った。

①マスメディアへの情報提供

・イベント開催情報のプレスリリース発信は情勢に配慮して実施しなかった。
・メディアからの問い合わせに随時対応した。

②協会メディアの活用

・びわ湖高島観光ナビ（総合観光マップ）の改訂に合わせて特産品コーナーの情報を更新。まるごと百貨店の記事に併せて、高島の発酵食品ＰＲのイメージ画像を掲載した。
・びわ湖たかしま旅季行（季節情報誌）の物産コーナーで情報を発信した。
秋冬号（8 月発行）／新商品 6 点紹介、地酒特集
春夏号（2 月発行）／新商品 3 点紹介、花見酒・お花見スイーツ特集
・ブログでイベント情報を随時発信した。

③ＳＮＳ等での情報発信

フェイスブック、インスタグラムでイベント情報や新商品、季節商品の情報を発信した。

④広告掲載

・有料広告（新聞紙面買取）の活用を予定したが、コロナ禍に鑑みて中止した。

6）誘致営業

①訪問営業

物産事業に特化した訪問営業は本年度は実施せず、観光振興事業における商談会等での施設紹介で誘致を進めた。

②モニターツアーへの組み入れ

ツアーやモニターツアーの立寄りスポット組み入れは実施できなかった。

③資料送付

旅行社、一般消費者への市内物産情報の送付はオンデマンドで実施した。

Ⅴ. 施設等管理運営事業

1. 琵琶湖周航の歌資料館案内業務（市委託事業）

琵琶湖周航の歌資料館において、高島市から委託を受け展示案内解説員を配置。琵琶湖周航の歌が誕生した経緯や琵琶湖周航の歌に関係する展示と説明を行った。

①資料の保管と展示

・収蔵資料を適正に保管し、整理と分かりやすい展示を行った。

②案内業務

・来館者に琵琶湖周航の歌の解説を行った。周航の歌クイズを実施した。
・団体受入も対応した。
・琵琶湖周航の歌資料館のＰＲパンフレットを作成：5,000 部

③企画イベントの実施

・琵琶湖周航の歌誕生の月に合わせ、6 月 1 日～30 日に特別展示を実施。
100 周年記念の時のパンフレット、グッズ等を展示した。
・琵琶湖周航の歌の魅力を発信するため、まちあるきイベントを実施した。
6/27(土)「琵琶湖周航の歌誕生のまち今津を歩く」
ガイド：今津ガイド勉強会 3 名　／　参加者：７名

④入館者の実績

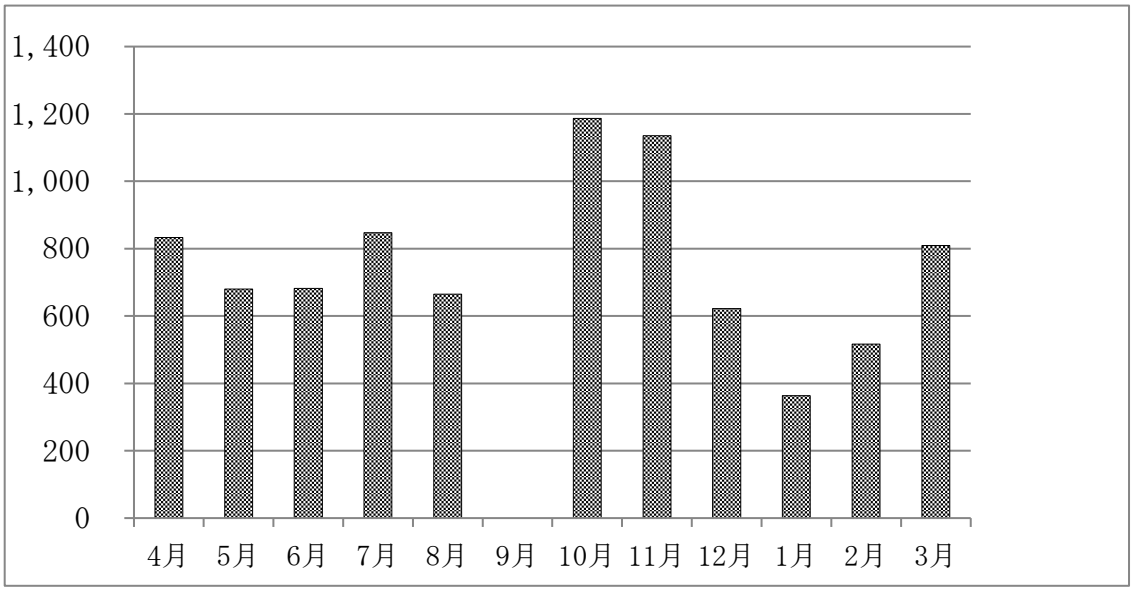
	入館者数（人）	前年度入館者数(人)	前年度比
4 月	249	260	95.8%
5 月	188	0	－
6 月	194	263	73.8%
7 月	199	335	59.4%
8 月	154	311	49.5%
9 月	0	375	0.0%
10 月	284	324	87.7%
11 月	517	496	104.2%
12 月	230	178	129.2%
1 月	71	140	50.7%
2 月	111	297	37.4%
3 月	257	403	63.8%
合計	2,454	3,382	72.6%

前年度と比較して 3 割程度入館者が減少した。

2. ＪＲ駅観光案内所運営（市委託事業）

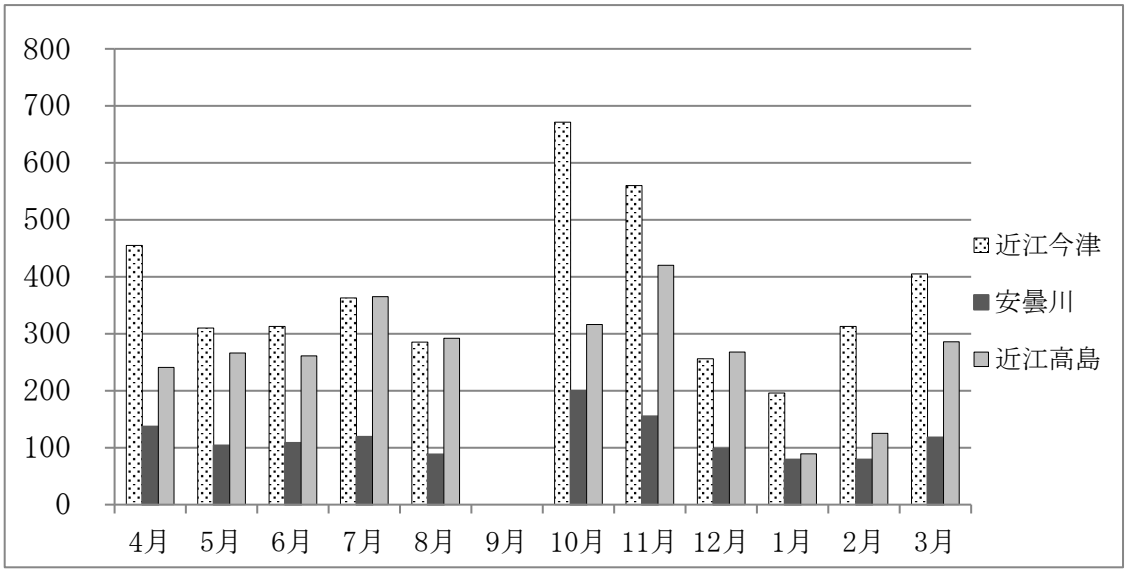
①近江高島駅、安曇川駅、近江今津駅の各駅構内観光案内所にて案内を実施した。

〇案内件数月次



9 月は緊急事態宣言への対応で案内所を休止した。

○駅別案内件数月次



年間を通じて近江今津駅の案内件数が多かった。

②二次交通としてのレンタサイクルの貸出窓口の機能を果たした。

③バス回数券等の販売を実施した

3. 六ツ矢崎浜園地管理運営

六ツ矢崎浜オートキャンプ場として、管理運営を実施した。

①管理業務

・日常管理業務

安全点検、草刈り、トイレ・炊事施設の清掃、ごみの回収処分

・施設等のメンテナンス

水漏れ修繕、排水詰まり等の修繕、塗装

・大雨、積雪等による影響の復旧作業

風倒木落枝撤去、湖岸漂着物処理、建造物修繕

②キャンプ場営業期間

本年度より利用者のニーズに対応して試行的に運営期間を通年に変更、冬季営業を開始、12/27～1/6 のみ休業期間とした。冬季営業は初年度であったが、予想よりも実績が上がった。今後も通年営業を継続する方針である。

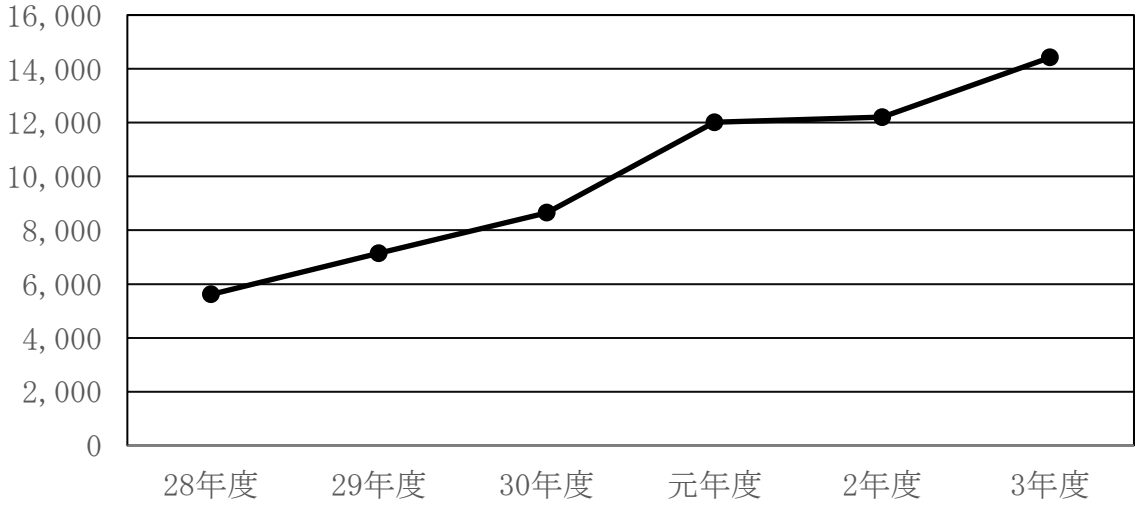
③利用実績

○通年の利用実績

	利用件数	利用人数	車両台数	管理協力金	前年比
4 月	978	1,545	895	2,546,700	313%
5 月	－	－	－	－	－
6 月	312	458	267	746,300	34%
7 月	1,170	2,069	1,000	3,206,200	208%
8 月	1,039	2,042	907	3,083,000	75%
9 月	－	－	－	－	0%
10 月	1,899	2,809	1,662	4,640,300	130%
11 月	1,628	2,422	1,434	3,979,800	132%
12 月	456	619	390	1,040,600	191%
1 月	378	457	304	835,500	－
2 月	399	535	326	950,400	－
3 月	1,024	1,464	824	2,442,900	436%
計	9,283	14,420	8,009	23,471,700	121%

コロナ禍による 2 度にわたる閉鎖期間（計 85 日間）があったが、それ以外の期間においては利用件数は安定しており、管理協力金は前年度比で約 20%の増加となった。

○利用実績の年次変化（人数）



令和 2 年度、3 年度と施設閉鎖に伴うコロナ禍の影響は見られるものの、キャンプブームは継続していると見られる。

④メンバーズカードを作成、配布。リピーター確保に向けた取り組みを実施した。

⑤ショップやメーカー、メディアによる撮影や貸切イベントへの協力

計 21 件受入れ

月　日	事業者・媒体	内容
5 月 22 日	ナビタイム	
6 月 24 日	芸文社 OUTDOOR あそびーくる	車両撮影
6 月 29 日	高島水上安全協会	啓発活動
7 月 14 日	株式会社ヤマプラ	車両撮影
8 月 1 日	ＪＴ	体験
8 月 4 日	クリエイティブパークワク	車両撮影
8 月 4 日	トヨタカローラ京都	車両撮影
8 月 5 日	ジスクリエーション	キャンプ用品撮影
11 月 12 日	㈱ダイナミックス	キャンプ用品撮影
11 月 17 日	㈱ヴァルド	車両撮影
11 月 17 日	㈱フラッグ	アウトドア用品撮影
12 月 5 日	ｶﾙﾁｭｱ･ｴﾝﾀｰﾃｲﾒﾝﾄ㈱	キャンプ用品撮影
12 月 10 日	京都新聞社	取材
2 月 26 日	NHK 大津放送局	インタビュー取材
3 月 3 日	芸文社 OUTDOOR あそびーくる	車両撮影
3 月 5 日	テレビ大阪	インスタグラマー密着取材
3 月 8 日	㈱ﾀﾞｲﾅﾐｯｸｽﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙﾎﾟｰﾄ	撮影下見
3 月 24 日	芸文社 OUTDOOR あそびーくる	キャンプ用品撮影
3 月 24 日	㈱フィグインク	ユーチューブ撮影
3 月 25 日	キャンプグッズマガジン	キャンプ用品撮影
3 月 29 日	㈱フロンテア	軽キャンピングカー撮影

※媒体でクレジット「六ツ矢崎浜オートキャンプ場」を表記するを条件に管理協力金を免除することで、メーカーや雑誌社を活用した情報発信を行った。

⑥その他

・新型コロナウイルス感染拡大防止による園地の閉鎖が発生した。

4 月 29 日～6 月 20 日　53 日間　・　8 月 30 日～9 月 30 日　32 日間

Ⅵ. 組織強化事業

1. 部会活動

①誘致推進部会

・国内、教育、インバウンド等各種誘致事業及び市場調査の検討を行った。

・地域内連携を目的とした交流会、市外視察研修会、市内現地視察会（各 1 回）、ＳＤＧｓ勉強会を実施した

○会議・事業

月日	会議・事業名	議題など	出席数
4/14	第 1 回 運営委員会議	協議事項 1）令和 3 年度部会事業について（交流会・研修会） 2）観光入込調査について	委員 9 名
6/23	第 2 回 運営委員会議	協議事項 1）令和 3 年度部会事業について （体験型観光推進交流会、視察研修会） 2）令和 4 年度事業について	委員 7 名
7/14 13:00 ～ 16:00	交流会	【びわ湖高島体験型観光推進交流会】 会場／ 奥琵琶湖マキノパークホテル&セミナーハウス 全参加者／31 名（部会員・体験提供事業者等） 内容／①名刺交換会・個別説明会 ②事業者紹介③フリータイム 評価／市内観光事業者間の顔合わせ会・情報交換会という目的は達成できた。その後の成果として、個々の事業者間の連携や、実際の商品造成・販売に繋がったケースもあった。今後も、地域間連携の活性化に繋がるような事業を部会を中心に検討したい。	部会員 15 名
7/27	第 3 回 運営委員会議	協議事項 1）交流会の評価、今後の方針 2）市外視察研修会について 3）令和 4 年度事業について	委員 5 名
9/28	第 4 回 運営委員会議	協議事項 1）令和 4 年度事業計画について 2）市外視察研修会について	委員 5 名

12/2	市外視察 研修会	【市外視察研修ツアー】 視察内容／ ① 奥伊吹観光株式会社、グランスノー奥伊吹、グランエレメント等 ② 長浜観光協会主催モニターツアーへの参加 ・朝日漁港（こいと漁体験） ※天候不良の為、湖北野鳥センターに変更 ・富田人形会館 ③ローザンベリー多和田 評価／視察内容としては、施設見学・教育旅行およびインバウンド誘致と、目的毎の内容をコーディネートできたので良かったと思うが、部会員としては、観光地や観光施設の成功事例の視察への関心度が高かった為、次回の参考にしたい。同じ場所・モノを見聞きし共有することで、部会員間の交流を深め方向性を合わせるという意味においても、部会員の意見を踏まえ、継続的に実施したい。	部会員 施設 計 9 名
1/12	第 5 回 運営委員会議	協議事項 1）入会承認（1 件） 2）市内現地視察会について 3）SDGs 勉強会について 4）令和 4 年度事業計画について	委員 8 名
2/9 10:00 ～ 16:00	市内現地視察会	【市内現地視察会】 視察内容／ ① 森林公園くつきの森施設見学・ｽﾉｰｼｭｰ体験 ②びわ湖ブルワリー施設見学 ③フィッシングパーク高島の泉 評価／特に受入先から、このような機会づくりの継続を希望される声があった。実際に現地で見聞きし体験することで、見識が深まるので、地域間連携の強化を図るため、今後も継続したい。	部会員 施設 計 5 名

2/17 13:30 ～ 17:00	SDGs 勉強会	【SDGs 勉強会～SDGs の観光活用～】 会場／観光物産プラザ 多目的ホール 内容／ ①講義 講師(一社)ｲﾝﾊﾟｸﾄﾗﾎﾞ 上田隼也 氏 ②ワークショップ 評価／今回は、SDGs の基礎知識習得、当地域での観光活用の模索・意見交換までを実施。次は具体的な取り組みや商品造成を行い、特に、既に需要のある団体・教育旅行の誘致に活用していきたい。	部会員 施設 計 11 名

②物産振興部会

まるごと百貨店実店舗およびＥＣサイトの運営などについての検討を実施した

○会議

月日	会議名	議　　題	出席数
4/15	第１回運営委員会	協議事項 1）令和 2 年度物産振興事業報告について 2）令和 3 年度物産振興事業計画について 3）楽天ＥＣ事業の展開について	委員 6 名
6/11	全体会	協議事項 1）令和 3 年度物産振興事業進捗について 2）令和 3 年度物産振興事業の予定について 3）楽天ＥＣ事業の商品募集について	部会員 6 名
9/29	第２回運営委員会	協議事項 1）令和 4 年度物産振興事業計画について 2）令和 3 年度物産振興事業進捗について 3）楽天ＥＣ事業の展開について 4）支援事業・喚起事業について	委員 6 名

2. 研修・育成活動

①他機関開催の研修会、セミナー等への参加

令和元年度から 3 年間、県内の市町観光協会職員を対象に実施される継続事業である。3 年目となる令和 3 年度は、目標到達レベルを「まちづくりを担い、観光地経営を実践できる人材」の育成とし、近隣市町との連携や滋賀県内の広域連携の接点を作れるようなプログラム等が実施された。びわ湖高島観光協会からは令和元年度・2 年度に引き続き 2 名が以下研修に参加した。

・県内受講生　計 36 名（内、元年度からの継続受講 27 名）

第 1 回 ｱｶﾃﾞﾐｰ	7 月 21 日 草津市内	・オリエンテーション・昨年度振り返り他 ・講演①「アフターコロナにおける滋賀県のツーリズムのあり方」／滋賀大学産学公連携推進機構 上田特任教授 ・講演②「滋賀県の観光振興の方向性」 ／滋賀県商工観光労働部観光振興局観光企画室 奥本主幹 ・ワークショップ「滋賀県ニューツーリズムとは」他
第 2 回 ｱｶﾃﾞﾐｰ	8 月 18 日 滋賀大学 （彦根）	・講義①「日本の観光政策と人材育成について ／観光庁 田渕参事官（国際関係・観光人材政策担当） ・講義②「コロナ禍におけるウエルネスツーリズムの重要性」 ／兵庫県立大学法人芸術文化観光専門職大学 髙橋准教授 ・講義③「アフターコロナのツーリズムの変化と求められる人材」／滋賀大学産学公連携推進機構 上田特任教授 ・ワークショップ他
第 3 回 ｱｶﾃﾞﾐｰ	9 月 1 日 滋賀大学 （彦根）	・講義①「観光危機管理」 ／㈱JTB 総合研究所主席研究員 河野氏 ・講義②「観光とデータサイエンス」 ／滋賀大学データサイエンス学部 市川教授 ・講義③「観光のマーケティング」 ／静岡県立大学経営情報学部 経営情報学科 岩崎教授 ・ワークショップ他
第 4 回 ﾃｽﾄﾂｱｰ	10 月 18 日 栗東市内	・栗東市 金勝寺苔フィールドワーク ／ホースセラピー ・ワークショップ、振り返り講座
第 5 回 ｱｶﾃﾞﾐｰ	9 月 29 日 大津市内	・講義①「現代人のストレスとリトリートの必要性」 ／森とこころの研究所所長 春日氏 ・講義②「運動・瞑想・健康」 ／滋賀大学教育学部 大平教授 ・講義③「発酵・食べる力・生きる力」 ／発酵・料理家 他谷氏 ・ワークショップ、模擬発表会

第１回 県域 研修会	8 月 24 日 滋賀大学 （大津）	・講演、事例紹介「アフターコロナ時代の地域観光・まちづくり～クアオルト健康ウォーキング」 ／日本クアオルト研究所 大城代表取締役 ・ディスカッション他
第２回 県域 研修会	11 月 22 日 滋賀大学 （大津）	・講演、事例紹介「どうすれば強いブランドが生まれるのか」 ／静岡県立大学経営情報学部 岩崎教授 ・ディスカッション他
成果 報告会	12 月 1 日 大津市内	・成果報告会（会場：ピアザ淡海） ・振り返り、表彰他

※コロナの影響により、オンライン受講含む。

②会員間情報の共有強化

メール「たかしま観光だより」の配信、会報誌「観光協会だより」発行。

交流会、研修会の開催（部会員対象）

③職員に対する人事評価、育成面談、情報共有会議等を実施した。